



ボーイスカウト横浜第99団 団通信

みずき広場のたより

「ともにスカウトを育てる活動」をつくろう!

■1976年4月1日 発団

■Vol.61 夏の村特集

■2025年 8月発行

99団の2025年夏は静岡県富士市にある少年自然の家とそのキャンプ場で、スカウトはそれぞれにチャレンジしました。広大な丸火自然公園に隣接し、各隊は存分に本来のスカウト活動を行ないました。準備を重ねていただいた指導者に感謝いたします。

横浜第99団 団委員長 藤本



2025 夏の村

会場：丸火青少年の家、丸火自然公園
富士市立少年自然の家

CS：フィールドハンター丸火の森を調査せよ
期間：2025年7月31日～8月3日

BVS：富士山の不思議を探す冒険に出よう！
期間：2025年8月2日～8月3日

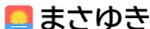
こうもりのこうすけからの誘いでビーバー隊は1泊で冒険に出ました。富士山のふもとでこうすけがいそうな洞窟の中を歩いたり、ボーイ隊のテントにお邪魔して、立かまどの説明を受けたり、呼び寄せる竹のお面を作って、大営火に参加しました。

BVS

ビーバースカウト 感想



キャンプファイヤーがたのしかった。ファイヤーの色がかわったのがおもしろかった。ピクチャーどうくつにいったのがたのしかった。  **じゅん**

どうつくたんけんがとてまたのしかったです。一ばんにどうくつに入ったときはドキドキしました。くらい中でゴツゴツした岩のみちをあるいて、いろいろかんさつしたりして、ぼうけんできたのでまた行きたいです。そして、ほかのメンバーをサポートできるようにになりたいので、これからのかつどうもがんばりたいです。  **まさゆき**

ビーバーたいのみんなでとまりにいきました。もりのとちゅうのしぜんのいえにとまりました。ようがんどくつにいきました。どうくつはずしくておくにはこうもりがすんでいるみたいです。キャンプファイヤーもたのしかったです。  **さくら**



 **カブ隊・ビーバー隊 夏の村プログラム** 

	午前	午後	夜間
7/31	移動	野外炊事	かぐやの湯
8/1	デン作り	スタンツ練習	ナイトハイク
8/2	ハイキング	スタンツ練習	大営火
	ハイキング	工作	
8/3	風穴探検	閉村式	
	風穴探検	時空の森	

みんなとごはんをたべながら、おしゃべりしたり、ハイキングにいきました。こうすけにあえませんでした。  **いつき**

行けなくてざんねんだったけど、いえでキャンプごっこができたのでたのしくすごせました。  **せな**

たんけんをしました。つかれたけれどたのしかったです。がっこうだったてもものなかでつくたえはがきもつくるのがたのしかったです。よるにキャンプファイヤーをしました。あつかったけどたのしかったです。2日目はこまかどふうけつにいきました。さむくてみずがつめたかったです。じくうのもりではふじさんしあーをみました。ふじさんのべんきょうになりました。  **たくみ**

CS

カブスカウト 感想

丸火青少年の家で作ったカレーがおいしかったです。野外炊事をもっとしたかったです。キャンプファイヤーは火の回りはあつかったけれど、げきなどをして楽しかったです。さいごの日に行ったどうくつは、きせつがかわったかのようにすずしかったから出るのがいやでした。  **ことは**

一番楽しかったのはでん作りです。どうしてかという、みんなできょうりよくしてロープのまきむすびもしたからです。夜がこわくて1ぱくで帰ったのでこんどは3ぱくがんばってとまりたいです。  **みやび**

野菜がじょうずにきれた。あと来年はハイキングでみんなと同じペースでのぼりきりたい。  **さき**



ハイキングが暑くてたいへんだったけど、がんばりました。キャンプファイヤーのスタンツが楽しかったです。来年はハイキングでおくれないうにしたいです。🌟かずし

夏の村で印しようにのこったのは、ナイトハイクでした。理由は、ペアの子といっしょに夜道をライトをつけながら進んでいたら、左がわの歩道にヒキガエルがいて、ビックリしました。去年と比べて行動が早くなりました。🌟こうた

私が「クマ」になり、次長になってから、みんなのサポートをしたいという目標を思っていました。夏の村に行って、最終日に入口の広場で優秀スカウトの発表でドキドキしていたら、私の目標がかなって選ばれたのでうれしかったです。次も次長としてのサポート出来るようにがんばりたいです。🌟あかり

楽しかった事は野外炊事で協力した。シカはたき火にまきを入れ、ウサギはやさいを切り、クマは米をあらいました。ハイキングはちょうちよを見つけ、ちょうちよがコケの水をすっていました。丸火の少年の家には神奈川県では見れない物も見れました。うさぎは初めて3ぱく4日だったので、しんぱいだったけど皆楽しくすごせたみたいでよかったです。🌟しゅうま

今年の夏の村で心に残ったことは、デン作りです。デン作りでは、設計図通りにならなかったけど設計図よりもがんじょうに作れて楽しかったし、自分で色々なロープワークを覚えることが出来たのでごく達成感を得られ一番心に残りました。ボーイスカウトの活動以外でもこのロープワークを覚えておいで利用したいです。🌟じょう

BS

EDGES SUMMER CAMP

班目標：みんなで楽しく生きる

期間：2025年7月30日～8月3日

会場：丸火自然公園グリーンキャンプ場

今年は電気も水道もない雄大な富士山麓でキャンプができました。日常生活と異なる環境で初日こそ実力を発揮できませんでしたが、徐々に適応して笑い声が聞こえるようになり、班対抗ゲームや登山、営火の即興劇で積極性が見られました。テント周辺は整頓され、料理や水汲みを通じて、班組織の役割遂行やリーダーシップ、協調性は日々成長を感じました。仲間やご家族への感謝を感じるようになり、オオカミ班は優秀班2回を含めて、最優秀班に輝きました。

「目標:死なない、自分でやることを見つけてやる」

私が夏の村で一番心に残っているのはハイキングです。なぜなら景色がととてもきれいで、そのあとお風呂にも入れたからです。道は大変でしたが、楽しかったです。セレモニーでみんな必ず何か賞をもらえるものもかなりいいと思いました。

一番楽しかったのは2日目のピザ作りです。なぜなら料理が私は大好きでじをこねているのも気持ちよかったです。みんなそれぞれいろいろなもりつけでだいぶ面白かったです。

夏の村をふりかえると、1日目は準備が多くて大変でしたが、2日目はピザを作ったり、カブがきたりしました。3日目はやるのが速く、ハイキングとお風呂とたくさん楽しめました。4日目はゲームがたくさんあって、5日目はセレモニーで雨が降りましたが家に帰れました。いろいろな気持ちになれたキャンプですが一言で言うと楽しかったです。🌟わか

「初の長期キャンプ」

今回のキャンプは初めての長期キャンプでした。キャンプをしている中で大変だったことがいくつかあります。1つはハイキングです。けっこうけわしい道だったけど、山頂について海が見えた時はつかれがふきとびました。またオムライスを作ったときはたまごをいためるのが重労働だったので、たまご1個でかんたんにオムライスを作る方法を調べてみたいです。🌟いつじ

「目標:時計を見て、考えて行動する」

今回のキャンプで一番大変だったのはハイキングです。ハイキングの最初と最後の階段です。100いじょうもあってとてもたいへんだった。

火起こしもマッチやしんぶんし、まきをたくさん使っておこしました。マッチやまきなどがしけっていつきにくかったです。

オオカミ班男子テントやフライのペグの数えていなかったのが大変でした。僕は朝あまり食べられない方で朝食をあまり食べられなかったけど元気に活動することができました。

毎日、虫よけをしていなかったのがたくさん虫にさされました。そして、かゆみどめもぬっていなかったのがとてもかゆかったです。お風呂は3日目以外に入れなかったのが、すこしいやなかんじでした。

🌟ゆうき/🏆2日目優秀スカウト

🔍 ボーイ隊 夏の村プログラム 🏆

	午前	午後	夜間
7/30	移動・開村式	設営・ゲーム	班集会
7/31	料理大会	ゲーム	ゲーム
8/1	愛鷹山・越前岳登山		班集会
8/2	ゲーム	班集会	大営火
8/3	撤営・表彰式	移動	

「目標:たちかまどをマスターする」

私は夏の村が初めてでしっかり持ち物が有るかなどとても心配でした。ですが班長や次長がしじをしてみんなをまとめてくれていて、自分が何をすればよいか分かり安心しました。

夏の村で大変だったことはハイキングです。なぜならロープにつかまって行く道、段差が高い道とても足がつかないです。大変だったことはもう一つあります。それはすいじです。初日のすいじでは玉ねぎをにる時間が少なくやばいほどからかったです。2日目の朝はたちかま作りから始まり、たまごを焼く時間が無くパンとゼリーだけでした。3日目はおいしく作れました。4日目は朝昼夜すべてかんぺきにおいしく作れました。とても大変なすいじでした。

私はこのキャンプを通じて、家って最高だなと思いました。おいしいごはん、おふろ、ふとん、すずしい部屋はありがたいなど思いました。キャンプ中のゲームなどで新しくロープワークを学び、フライの立て方を学び、生活の仕方を学ぶことができました。とてもきちょうな体験ができてよかったです。次の夏の村や活動で今回学んだことをいかしたいです。

🌞 ゆい / 🏆 最優秀スカウト / 🌟 2日目優秀スカウト

「夏の村を終えて」

夏の村を終えて一番印象に残ったことは越前岳ハイキングです。ハイキングで一番きつかったのは最初の登り坂です。日光が直接あたってとても暑くて大変でした。その後は木かげが多くなり登りやすかったです。途中岩場がありロープを使って登らなければなりません。でも安全に気をつけて登ることができほっとしました。

頂上に着くまでとてもつかれましたが到着してつかれが飛びました。このハイキングを通して体力がついたと思います。さらにこれからもいろいろなことを学んでいきたいです。 🌟 みなと

「目標:生きてお家に帰る」

富士山の近くなのがとてもいや。毎年毎年、成長しているらしく明るくなってらしいです。だんだん体も動くようになってきて、班や全体の役に立てたらとてもうれしいです。

夏の村はきらいですけど、日々のありがたみ、自然のすごさや考えさせられたりすることはたくさんあります。行ってそんはないと自分でも思っています。オオカミ班も人数が増えてにぎやかになり人手不足ということはなく、一人一人が個性豊かみんな考えて動いていることにとっても感謝しています。ボーイの子たちはみないい子でとてもたよりになる人がたくさんいます。夏の村も無事に終わってとてもよかったです。肩が痛い。 🌟 ゆづき



いつも賑やかなテントサイトのオオカミ班メンバー

「班で過ごした5日間」

夏の村を通して印象に残ったことは3つあります。1つ目は食事作りです。毎回火をつけるのに苦労したけど、班のみんなと協力して作るのが楽しかったです。2つ目はハイキングです。登りはじめたときは山頂が見えず、登りたくないと思っていたけど、きれいな景色が見られて、登りきったときの達成感もあって、今考えると登って良かったと思っています。水が足りなくなってリーダーにもらったことは反省点です。3つ目は大營火です。ビーバー隊やカブ隊の人達と大人数で火を囲んで歌を歌ったり、レクをしたりするのが楽しかったです。劇ではみんな緊張していたけど、班で1つの劇を作り上げることができてうれしかったです。

正直、帰りたいという気持ちもあったけど、普段ふれることのない自然の中で5日間過ごしてみると不便であるからこそその良さを見つけることができました。今年の夏の村は今まで参加した2回よりも班での行動が多かったように感じました。だからこそ、班の中が深まり、みんなで協力し、笑い合いながら過ごすことができたのだと思います。 🌟 しゅうか

「夏の村できずいたこと」

今年の夏の村で一番のしゅうかくは小6組を細かくわかったことです。私は小6組をあんまり知らなかったのですが、今回の夏の村でわかったのがなによりうれしいです。

ゆいとゆうきは自分からよくすすんでくれて、とても助かりました。いつじはくせはありつつ、技術はだれよりもあって今後の成長が楽しみです。わかには3人よりは技術はおとっています、だれよりも明るく成長いよくがすごかったです。わかには女子なこともあり、それをのばせば他の3人とはちがう強みがでてくると思います。

今回は僕の反せいは小さくないと思いますし、小6達の細かなせいかくが分かったので自分は満足しています。 🌟 なつき / 🌟 3日目優秀スカウト

